

喜界島をモデルとした地域主体型の サンゴ礁保全プラットフォームの構築

活動地域  鹿児島県大島郡喜界町



巨大ハマサンゴ周辺をリーフチェック

課題

サンゴ礁は沿岸生態系の生物多様性を維持する重要なプラットフォームであるが、地域住民の自然環境に対する関心・意識の向上を目的とした取組みは限られている。

目標

地域住民の自然環境に対する意識向上と保全活動を促し、それを将来にわたって持続的に支え、適切な環境教育を提供できるようなプラットフォームを地域に定着させる。



今後の展望

海洋観測とリーフチェックを継続し、喜界島の海洋環境調査と保全を継続する。海洋教育授業やサンゴの養殖保護活動、地域の方をガイドとしたジオ・マリンエコツアアを助成期間終了後も維持できる体制・関係を整備する。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

毎週の海洋観測と潜水調査を3回実施した。440歳を超える巨大ハマサンゴ周辺でのリーフチェックでは、底質の造礁サンゴの被度は52%だった。調査の結果は、5回の報告会及び3回の広報誌で報告記事を掲載した。地域の学校教育と連携したサンゴ養殖は、昨年度から引き続き養殖と担当教員との勉強会を実施した。サンゴの飼育実験を行う企業や研究者と意見交換を行い養殖環境の改善に取り組んだ。喜界島ジオ・マリンエコツアア活動では、島内外の方と喜界島のツアアを実施したり、自ら案内ができるようガイド講座を実施した。



地域住民への調査報告会の様子

プログラム年間参加者数 1,670人

サンゴ種の養殖保存 23種

今年度計画の達成度 100%

目標達成度 70%

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

ジオ・マリンエコツアアを安全に実施するため、サイトやツアアの構成などを配慮した。各イベントで参加者募集の声かけなどに苦勞した。

■ 工夫した点

SNS・機関誌・喜界町広報誌で報告し、積極的な情報発信を行った。地域の方の参加を増やすため、直接の声かけも重視した。

〒891-6151
鹿児島県大島郡喜界町
大字塩道1508
電話：0997-66-0200
E-mail：mail@kikaireefs.org
HP：http://kikaireefs.org

